

○年度 里山林活性化による多面的機能発揮対策交付金モニタリング結果報告書

1 活動の目標等

区分：	地域活動型（森林資源活用）
目標：	混み合った広葉樹林の蔓切りと間伐をして、景観をよくする。 3年後の立木本数は16本/100㎡（1,600本/ha）にする。 活動対象林の目標伐採本数は標準地内7本（700本/ha）で、伐採率は約30%
モニタリング調査方法：	④ 樹木の本数調査

2 活動実施前の標準地の状況（7年度）

標準地の状況を記載	林内は広葉樹やつる類が侵入して過密状態となっていることから、除伐等を実施して健全な林分とする。調査区内の低木（～4m:2本）、中木（4m～10m:6本）、高木（10m～:14本）合わせて23本/100㎡（2300本/ha）で、7本（700本/ha）を伐採する。	写真
-----------	---	----

3 活動計画1年目の標準地の状況（7年度）

標準地の状況を記載	対象地森林で蔓切と間伐を実施した。標準地内は中1本、高2本の計3本（300本/ha）を伐採した。伐採後の本数は20本（2,000本/ha）。伐採率は約13%	
目標達成度	43%	計算式： 標準地の伐採本数 3本 ÷ 目標伐採本数 7本 = 42.8%
次年度に向けた改善策	引続き安全作業に努め、蔓切・間伐を進める。	・標準地野帳を添付

4 活動計画2年目の標準地の状況（8年度）

標準地の状況を記載	対象地森林で蔓切と間伐を実施した。標準地内は中1本、高1本の計2本（200本/ha）を伐採した。伐採後の本数は18本（1,800本/ha）。伐採率は約21.7%	写真
目標達成度	71%	計算式： 標準地の伐採本数（3本+2本） ÷ 目標伐採本数 7本 = 71.4%
次年度に向けた改善策	引続き安全作業に努め、蔓切・間伐を進める。	

5 活動計画3年目の標準地の状況（9年度）

標準地の状況を記載	対象地森林で蔓切と間伐を実施した。標準地内は低1本,高1本の計2本(200本/ha)を伐採した。伐採後の本数は16本(1,600本/ha)。伐採率は約30%	写真
目標達成度	100%	計算式: 標準地の伐採本数(3本+2本+2本)÷目標伐採本数7本=100%

（注）目標の設定及び標準地の状況の記載については、別に定めるガイドラインを参考とすること。